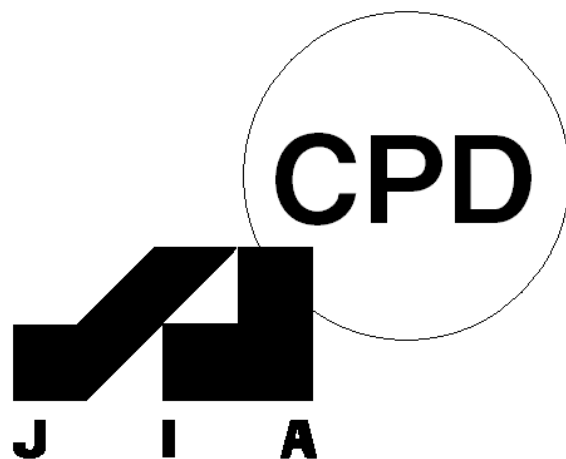




JIA

「CPDマニュアル」



CPDとは

CPDは Continuing Professional Development(継続職能研修)の略称です

CPDはContinuing Professional Development(継続職能研修)の略称です。

日本建築家協会の「建築家憲章」の中で「建築家は、たゆみない研鑽によって自らの能力を高め役割をまっとうします」と定めています。

建築家に限らず、医師や弁護士などいわゆる高度専門職業(プロフェッション)といわれる職業人にとって依頼主の信頼に応え、業務を遂行する上で、自己研鑽に努めることは当然の責務とされています。この自己研鑽を確実に実行できるようにするとともに、それを社会から見ても明かに見えるようにすることは職能団体の責任であり、また、そうすることが市民の建築家に対する信頼を高めることとなります。そして団体に所属する会員の信頼も確固としたものになります。

CPDは自主研鑽を第三者からもわかるようにする制度です

建築家が自主的に研鑽しているだけでは第三者にはわかりません。研鑽した時間によりCPD評議会にて定められた単位を取得することで、第三者からも研鑽していることが判るようにするのがCPD制度です。(研鑽時間と単位の関係はP-5の「単位について」をご参照ください)

建築家にとってのメリットは制度化することによって、建築家は社会に役に立つだけの能力を持ち、自己研鑽の努力をしている人達だとの認識が得られることです。

国土交通省は設計者選定に際し、CPD単位を評価の一つに加えました。選定の評価にCPD単位を加える動きは、国土交通省だけでなく各自治体にも広がっております。(評価対象となるCPD取得についてP-3の「認定プログラムへ参加し、プロポーザル有効単位を取得したい方」をご参照ください)

建築家資格制度とCPD

建築家資格制度規則では、登録建築家の責務として、「登録建築家は、常に建築の設計及び監理の知識を習得し、登録建築家の社会的信頼の確立に努めなければならない。」と定められています。

登録建築家としてあり続けるためには、登録更新の際に、建築家資格制度に関する細則で規定された単位数以上のCPD単位を取得していなければなりません。この要件を満たせない場合には、登録が抹消されます。

建築CPD情報提供制度について

平成14年より運用を開始したJIAをはじめとして、複数の建築・設備関連団体が独自に会員向けのCPD制度を実施していた中、それらの活用・統合に向け、平成18年に関連8団体等(学識経験者、国土交通省、(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築家協会、(社)建築業協会、(社)日本建築学会、建築設備士関係団体CPD協議会、(社)日本建築構造技術者協会、(財)建築技術教育普及センター)で構成される建築CPD運営会議が設立され、建築CPD情報提供制度の運用が開始されました。

JAEIC((財)建築技術教育普及センター)は当初より建築CPD運営会議の事務局を勤め、関連団体が管理する建築士等のCPD実績をデータベースで統合的に管理し、CPD実績情報の提供・公開等を行っています。

JIAはJAEICとは当初より運営会議DBとの共同運用を行っており、建築CPD情報提供制度上でのデータの共有化が成されています。具体的には、JIAのCPD評議会が、建築CPD情報提供制度プログラム認定基準により認定したプログラムを会員が受講すると、その出席記録が自動的に運営会議のデータベースに蓄積され、必要に応じ発行される実績証明書を国土省のプロポーザルの評価対象として活用することが可能となります。

国土交通省プロポーザル方式

平成20年5月に国土交通省は官庁営繕分野の設計者選定に際し、継続能力開発(CPD)制度をプロポーザル方式等の評価対象に組み入れることを決めました。具体的には、(財)建築技術教育普及センターを事務局とする「建築CPD運営会議」が運営する「建築CPD情報提供制度」を活用し、技術者のCPD取得単位数を評価点等に反映させるものです。

CPD情報システム

JIACPDでは、インターネットによる単位の管理を行っています。そのシステムが、「CPD情報システム」です。「CPD情報システム」では、①認定プログラム検索 ②取得単位の確認 ③自主研修申請(学習日が2015年9月30日以前に限る)を行うことができます。「CPD情報システム」へは、JIAホームページからアクセスできます。

(http://www.jia.or.jp/qualify/cpd/system_index.html#)

詳しい操作方法は「操作マニュアル(参加者用)」をご参照ください。

認定プログラムへ参加し、プロポーザル有効単位を取得したい方

「認定プログラム一覧」の「認定プログラム名」に[CPD]マークが付いているプログラムを選ぶ

主催者へ参加を申し込む

認定プログラムへ参加し、出席者名簿に氏名とJIACPDユーザーIDを記入する

プロポーザル有効単位が取得出来る

認定プログラム一覧

認定先アイコンの意味
465 件の認定プログラムから日付順に 20 件ずつ表示しています。(Page 9 / 2)

日時	認定プログラム名	プロバイダー名	形態
2009年11月22日～ 2009年11月28日迄	平成21年度第2回見学会 「古藤京麿の町家、西本願寺書院・唐門・飛雲閣、鳥居の見学会」 [CPD]	社団法人日本建築学会	見学会
2009年11月22日～ 2009年11月28日迄	JIA九州支部大会09基本講座 [CPD]	(社)日本建築学会九州支部大分地域会	講習会

- 登録建築家有効単位も合わせて取得出来ません。
- JIACPDユーザーIDは
 - ・一級建築士を取得している方は一級建築士番号
 - ・一級建築士を取得していない方は“J”+JIA会員番号（例 J8738084）

認定プログラムへ参加し、登録建築家有効単位を取得したい方

「認定プログラム一覧」の「認定プログラム名」に[JIA]マークが付いているプログラムを選ぶ

主催者へ参加を申し込む

認定プログラムへ参加し、出席者名簿に氏名とJIACPDユーザーIDを記入する

登録建築家有効単位が取得出来る

認定プログラム一覧

認定先アイコンの意味
465 件の認定プログラムから日付順に 20 件ずつ表示しています。(Page 9 / 2)

日時	認定プログラム名	プロバイダー名	形態
2009年11月22日～ 2009年11月28日迄	平成21年度第2回見学会 「古藤京麿の町家、西本願寺書院・唐門・飛雲閣、鳥居の見学会」 [CPD]	社団法人日本建築学会	見学会
2009年11月22日～ 2009年11月28日迄	JIA九州支部大会09基本講座 [JIA]	(社)日本建築学会九州支部大分地域会	講習会

- [CPD]マークと一緒に付いている場合は、プロポーザル有効単位も取得できます。
- JIACPDユーザーIDは
 - ・一級建築士を取得している方は一級建築士番号
 - ・一級建築士を取得していない方は“J”+JIA会員番号（例 J8738084）

自己学習を自主研修申請したい方

自己学習をする



CPD情報システムで自主研修申請する



CPD評議会で審査され単位が認定される



登録建築家有効単位が取得出来る

自主研修申請の手順

▶▶▶ CPD参加者用入口



▶▶ システムログイン



ユーザーID(一級建築士番号)とパスワード(JIA会員番号)を入力



▶▶▶ 自主研修申請

- プロポーザル有効単位は取得できません。
- 自主研修申請をすると[申請中の自主研修項目]に表示され、審査・認定されると、[認定自主研修詳細]へ移動して表示され、単位がつきます。

**2015年10月1日より、自主研修は廃止されました。
学習日が2015年9月30日以前の自己学習のみ、
申請できます。**

単位について

取得単位数

JIA正会員の3年間必須履修単位は36単位です。

認定の対象外

- ・大学等の教育機関における恒常的な講師等。
（一定の報酬を得て継続的に行う場合。非常勤講師も含む。）
- ・修士・博士課程等に再入学して学生としてカリキュラムを受ける或いは研究を行った場合。
- ・建築家としての日常業務。
- ・各種設計コンクールなどの表彰式や懇親会のみでの出席。
- ・飲食を伴う会合。
- ・講演会・見学会・建築展等の準備作業等。
（但し、委員会・部会・地域会等の活動の延長である場合は、職能活動として認定対象。）
- ・専ら製品説明・宣伝のための講習会。

Q & A

期間

Q: 履修期間はいつからいつまでですか？

A: 履修期間は毎年4月1日から翌年の3月31日まで(年度毎)です。

インターネットシステム

Q: CPD情報システムへの参加登録はいつどうやって行うのですか？

A: JIA会員の方は入会の際に、自動的に登録完了しておりますので、参加登録の必要はありません。

JIAに入会されていない方は、CPDシステム「新規参加者登録申込」からお申込ください。
(参加登録には費用が必要です。)

Q: ログインに使用するユーザーIDとパスワードがわかりません。

A: ユーザーIDとパスワードは次のように設定されています。半角でご入力ください。

◆JIA会員の場合

* ユーザーIDはJIA入会時に

一級建築士資格を保有している方: 一級建築士番号

一級建築士資格を保有していない方: J+JIA会員番号

* パスワードはJIA会員番号(7桁)

但し、APECアーキテクト・エンジニア資格を保有している方はパスワードが異なります。

◆JIA会員以外の場合

参加登録の際に付与されたユーザーIDとパスワードをご使用ください。

Q: 国交省のプロポーザルに使用する、証明書がほしいのですが

A: 建築CPD実績証明書は公益財団法人建築技術教育普及センターで発行しています。

詳細については、公益財団法人建築技術教育普及センターへお問合せください。

(公益財団法人建築技術教育普及センター Tel03-6261-3310)



Q: 他団体の認定プログラムに参加した場合、単位はどうなりますか？

A: 他団体の認定プログラムであっても、JIACPDシステムの認定プログラム一覧に掲載
されていれば参加者名簿にユーザーIDと氏名を記入することで単位を取得できます。

Q: 出席した認定プログラムの単位が加算されていないのですが？

A: JIACPD事務局にご連絡下さい。

* 認定プログラムの主催者から出席者名簿が提出された後に単位が加算されますので、
開催日から1～2ヶ月程度時間がかかる場合があります。

* 認定プログラムに出席した際は、出席者名簿に氏名とユーザーIDを正しく記入する必
要があります。未記入・誤記入の場合には出席者が特定できず、単位が加算されない
場合があります。

場合によっては、参加者から主催者に出席の事実確認をしていただき、主催者から事
務局へ 連絡することが必要になります。

お問合せ

JIACPD事務局 担当: 北沢・浅尾

TEL 03-3408-7125 E-mail cpd@jia.or.jp